

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和5年 秋 第74号

# あかり

A K A R I

豪雨予報から考えた科学技術の進歩	1
静岡県立西部特別支援学校研修報告	2
4年ぶりに『てんかん専門職セミナー(小児)』を開催しました!	4
診療放射線技師による静脈路確保をおこなっています	5
「よくかんでゆっくり食べる」効果とは?	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

## 豪雨予報から考えた科学技術の進歩

臨床研究部長 西田 拓司

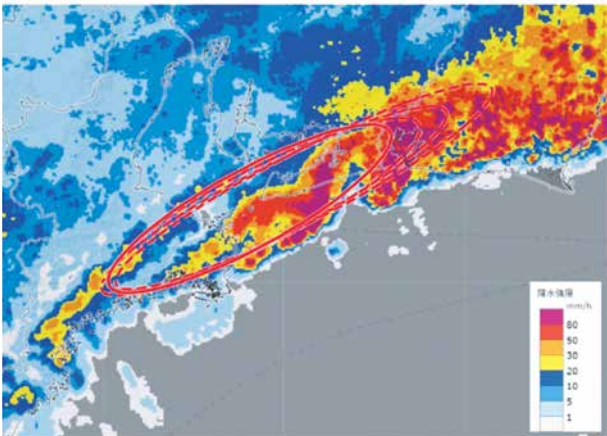
こんにちは。2023年7月から臨床研究部長を拝命しました。よろしくお願ひします。さて、皆さまがあかり秋号を読む頃はずいぶん涼しくなっていることと思います。今年には本当に暑い夏でした。東京、大阪、名古屋など日本の主要都市の真夏日は90回を超え、気象庁が統計を取り始めて以来125年間で日本の平均気温は最も高くなりました。昔は真夏といえば夏休みの1か月くらいのイメージだったのが、今は真夏が3か月もあるのですね。また夏の暑さのみならず、日本各地でゲリラ豪雨が多発しました。病院付近の麻機遊水地は普段はのどかな野鳥の楽園ですが、大雨の際は近くを流れる巴川の水を貯

水する機能があります。しかし、近年の豪雨はその治水機能を超過してしまうらしく、数年前には病院周囲の道路が冠水したことがありました。いつまた道路が浸かってしまうか冷や冷やです。

さて、近年、「線状降水帯(センジョウコウスイタイ)」という言葉をよく耳にします。線状降水帯とは、「次々と発生する発達した雨雲が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞する線状の強い局地的な降水をともなう雨域」とされます。今年も日本各地で線状降水帯が発生し豪雨をもたらしました。6月2日には静岡県内で線状降水帯が発生し浜松で記録的な降水量

を観測しました。皆さまは雨雲レーダーをご覧になったことがありますか？テレビやインターネットの天気予報で日本全国の雨雲の状況をリアルタイムに、しかも数時間後の予想まで見ることができます。静岡県内で発生した線状降水帯も雨雲レーダーで確認することができました(図)。

雨雲の動き 2023年6月2日16時25分



気象庁のホームページによると、全国20か所に設置されている(静岡には菊川市にある)気象レーダー

から電波(マイクロ波)を発射し、半径数百kmの広範囲内に存在する雨や雪を観測しているとのことです。そして、これまで蓄積された情報をもとに、近年はAI(人工知能)を用いて今後の雨雲を予測しています。最近では、スーパーコンピュータ富岳を使った豪雨予報の研究や実証実験も行われています。こうした豪雨予報の技術の進歩が、電車の運行や高速道路の制限などの安全な運用に役立っているのだと思います。

地球規模の環境の変化もあり、大雨などの自然災害が身近なものになってきています。一方で、科学技術の進歩が私たちの暮らしを守ってくれています。医療の分野も病気の克服を目指して日々さまざまな研究が行われています。病気や障害のある人の生活や暮らしが少しでもよくなるよう、私たち病院スタッフも研究を続けてゆきたいと思います。医療における研究は患者様やご家族の協力なしには進みません。ぜひ、皆さまのご協力をお願い申し上げます。



## 静岡県立西部特別支援学校研修報告



医療福祉相談室 田中 佐代子

当院は2015年からてんかん診療拠点機関に指定されています。静岡県のでんかん地域診療連携体制整備事業では、てんかん患者が地域において適切な支援を受けられるよう、てんかん診療における地域連携の在り方を提示し、てんかん拠点医療機関間のネットワーク強化により均一なてんかん診療を行うことができる体制を整備しています。



診療以外の相談事業、啓蒙活動など事業の中で、研修事業では支援学校等での講演会の活動も行っています。今回は西部特別支援学校の校内研修での講演について報告します。

令和5年8月30日に静岡県立西部特別支援学校の教職員対象の校内研修において①「てんかんとはどのような病気か？」について徳本医師の講演、②「てんかん発作の対応と実演」について、院内認定て

んかん看護師の青柳看護師と小島看護師の講演がありました。



①「てんかんとはどのような病気か？」では徳本医師から「てんかんとは?」「てんかんについての知識・診断・治療」といった専門性の高い内容から、生活面、子どものてんかんの併存症まで幅広く説明されました。また、事前に先生方から挙げられた質問についての回答、解説があり、ブコラム類粘膜投与についても説明がありました。



②「てんかん発作の対応と実演」では発作における受傷対策や、てんかん発作が起きた際の注意点、観察点など介助者の視点からの話があり、発作対応についての実演がありました。食事時の発作に対する対応、肢体障害の方を想定し、車椅子で発作が起きた際の対応についての実演がありました。



西部特別支援学校は肢体障害が主障害の学校ですが、医療的ケアの必要な生徒さんやてんかん発作の症状がある生徒さんもおられることでした。

約80名の参加があり、「とてもわかりやすい内容であった」「毎年聞きたい内容であった」「いろいろな場面の発作時の対応がわかりやすかった」との感想をいただいています。



今後も引き続き研修事業を含め、“てんかん”に関する正しい理解と普及啓発の取り組みを行っていきたいと考えています。



4年  
ぶりに

# 『てんかん専門職セミナー を開催しました！』

小児

てんかん専門職セミナー実行委員会  
療育指導室 島田 明義



このセミナーは、夏休み期間に合わせて、地域の諸学校、保育・幼稚園、児童施設等の専門職の皆さんを対象に、てんかん児に対する知識、てんかん発作等への対応の仕方、家庭や学校・事業所等の現場の課題に対するヒントや理解を深めるためのセミナーです。過去3年間は、新型コロナウイルス感染症流行に伴い自粛せざるを得ない状況でしたが、今年は感染対策を講じ、応募人数も減らし、8月24日(木)に開催することができました。



今年の定員は40名で、メールのみでの受付でしたが、**メ**切2週間前には募集定員の上限に達し、てんかんに対する興味・関心の高さを改めて感じました。

当日は、小児科医師による「“てんかん”という病気のこと」をはじめ、院内認定てんかん看護師、保育士、理学・作業療法士、心理療法士より、各専門領域の講演をしていただきました。質疑応答では、

現場での対応やできれば現場で話してほしいといった質問や意見が聞かれました。また、受講後のアンケートには、「わかりやすかった」、「勉強になった」、「よい学びとなった」、「知りたいことが知れた」等の声が寄せられました。研修後に、病棟や検査室、リハビリ、療育の関係部署の見学も行い、概ね好評をいただきました。



また、応募受付締め切り後も、何件もの問合せをいただき、残念ながらお断りした方も見えました。このコロナ禍の中、このような研修も制限され、それぞれの施設や学校等で、悩みながら、試行錯誤しながら取り組んでいたこと、そしてこのような場を必要としている方々がまだまだたくさんおられることを改めて感じました。これからも、私たちにできることを少しでも皆さんに提供できればと思っています。今年度参加できなかった皆さん本当に申し訳ありませんでした。次回は早めにご応募ください。



## 診療放射線技師による静脈路確保をおこなっています

2021年に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する」という目的のもと医療法の一部が改正されました。これにより医療関係職種の専門性を生かせるよう業務範囲が拡大されることになり診療放射線技師法も改正されました。

業務拡大された中に「造影剤を使用した検査やRI検査のために静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為」というものがあります。

専門用語でわかりづらいですが「造影検査やRI(核医学)検査のために腕に針を刺して検査用のお薬を流す管を準備する」というものです。

規定の研修や実習を経て昨年より医師の先生に指導を受けながら業務が始まりました。患者さんに注射の針を刺すことは初めてのことでしたのでとても緊張しました。血管の位置や太さ

は患者さんごとに全く違うので上手く出来ず医師の先生にフォローしてもらいながら行っていました。現在は200件以上の件数を経験したこともありスムーズに行えるようになりました。

今後も良質かつ適切な医療を提供できるよう心掛けて業務を行っていきます。



# 「よくかんでゆっくり食べる」

## 効果とは？

栄養管理室 田中 雄太郎



「よくかんでゆっくり食べましょう」そんなことを話したり、言われたりしたことはありませんか。よく聞くけど、なぜだろう。そう思ったこともあるかと思います。今回は、噛むことにどのような意味があるか、そしてどのような効果があるかをお話しします。

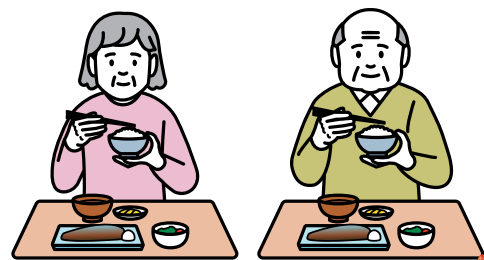
噛むという行為は、食べ物を消化する際に一番初めに行われる消化の過程です。噛まずに飲み込んでしまうと、食べ物そのものによる窒息のリスクもありますし、栄養素の吸収においても影響が出てきます。また、食べ物はそのままの形で消化管を通り消化がされにくいまま、胃や小腸を通過していきます。そして、せっかく食べた食品も栄養が体内に取り込まれることなく食品に残ったまま排泄されてしまいます。ゴマやトウモロコシ、わかめなど、そのままの形で排泄されたことをみかけた経験のある方も多いのではないのでしょうか。時として人参も消化されずに排泄されることもみられます。食べ物を未消化で終わらせないために噛む(咀嚼)ことが大切になってきます。ヒトが食べ物を摂取する際に消化吸収において物理的に食べ物を砕く・つぶす行為ができるのは噛むことだけです。噛むことにより食べ物の組織が壊れ、その後の消化過程で炭水化物を分解するアミラーゼや、たんぱく質を分解するプロテアーゼ(ペプシンやトリプシン、ペプチダーゼなど)、脂肪を分解するリパーゼといった消化液と良く混ざりようになり、栄養素はさらに分解され体内に吸収されやすくなります。噛むことで消化吸収の手助けをしているのです。

未就学児などの幼い時によく言われること

が多いフレーズ、消化器機能は3歳頃にはほぼ大人と同等の機能になりますが、栄養が多く必要となる年齢でもあります。発達途中の消化吸収を補うためにも噛むことが重要になってきます。消化吸収がきちんとできることは、てんかん食においても重要な意味を持ちます。てんかん食の中でもケトン食では栄養素の比率が計算され調理されています。極端な低糖質・高脂質食であるてんかん食をきちんと食べられることが大切であり、少しでも食べやすく工夫が凝らされていますが、摂取したケトン食がより効果を発揮するためには、栄養素がきちんと吸収されることが必要となります。そのためには「よくかんでゆっくり食べる」ことが大切になってきます。

また咀嚼には消化を助けるだけでなく、覚醒作用や認知機能の向上、食後血糖値の急上昇の予防や満腹感を得られやすいなど、体や脳の働きにも良いとされています。咀嚼することで脳の血流が良くなり、認知症の予防につながる事が様々な研究から解明され咀嚼と認知機能の関係が今注目されていますので、今後は咀嚼を促すような認知症食も注目されるでしょう。

ただ「よく噛む」だけかもしれません。ですが、様々な可能性があるとても簡単な健康管理方法です。



診 療 体 制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

診察室	初 診					再 診				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室							山崎悦	川口	山崎悦	白井
第2診察室						徳本		荒木		
第3診察室	大谷英之			白井直敬			西田			西田
第4診察室								日吉	美根	川口
第5診察室							水谷			小川
第6診察室						芳村			芳村	澤木
第7診察室			山口解冬	荒木保清			荒木			山口
第8診察室		今井克美		今井克美	今井克美	今井		高橋		
第9診察室		川口典彦	芳村勝城			重松			大谷	大谷
第12診察室	西田拓司		西田拓司		山崎悦子					

脳神経内科

■ 初診

診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾智一	小尾智一	小尾智一		小尾智一
第11診察室	午前	杉浦	杉浦	寺田		
	午後	寺田達弘		寺田達弘		尾内康臣 第4週
第13診察室	午前			高嶋		

特殊外来

認知症疾患医療センター 月・水 小尾智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054-246-4580

F A X ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司 青木 裕子 石橋 綾子  
 矢嶋 隆宏 渡邊 宏美 葛城 裕幸  
 堀 友輔 高橋 輝 長田 英喜  
 加治 豪廣

発行 ■ 令和5年10月25日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

## はじめて当院を受診される方へ

### ◆診察は予約制になっています◆

#### 1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)  
 その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

#### 2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

#### 3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

#### 4 セカンドオピニオンについて

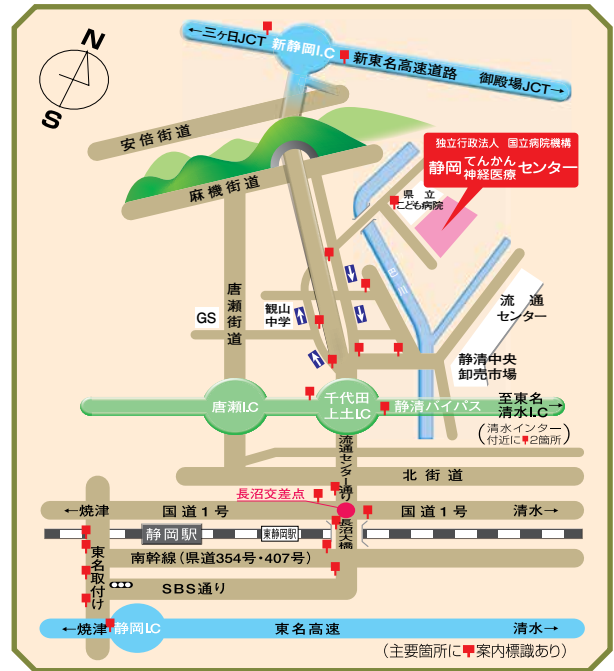
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

#### 5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

## 当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	東京方面から
	名古屋方面から
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



## 本

### ● 抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

### ● エキスパートが語る てんかん診療実践ガイド

【日本医事新報社、2022年7月】

静岡てんかん・神経医療センターの専門医が中心となり、てんかんの診断・分類から薬物治療、社会生活のアドバイスまでを体系的に解説。  
 ・てんかん発作と間違いやすい症状・疾患との鑑別を丁寧に取り上げ、誤診を防ぐための知識をふんだんに紹介。  
 ・薬物治療についても、併存症や副作用、減薬など、判断に迷うことの多い疑問にやさしく回答しました。

### ● 新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

### ● プライマリ・ケアのための 新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。  
 2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

## てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)